

週間市場レポート

(2019年8月19日～8月23日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

- 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米商務省が、華為技術（ファーウェイ）に対する米国製品の輸出禁止措置の猶予期間延長を発表したことや、ドイツや中国の景気対策期待などが投資家心理の支えとなり、前週末から3日続伸しました。米中貿易摩擦への懸念やイタリアの政局不安の高まりから週半ばに下落したものの、週末は、米国地区連銀総裁らの発言等から継続的な米利下げ観測が後押し円安・米ドル高が進行すると輸出関連株を中心に買いが優勢となり上昇しました。
(週末引け値：20,710.91円)。

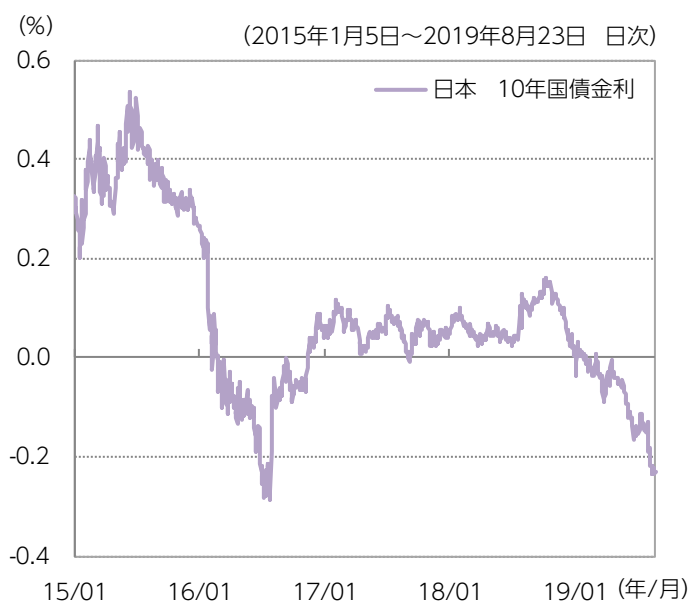


- 週間では、日経平均株価は1.43%の上昇、東証株価指数は1.14%の上昇となりました。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。欧米の債券市場の動きや財務省が実施した国債入札の結果等を受け、週を通じて一進一退の展開となりました。前週末同様、日本銀行の金利誘導目標の下限（-0.2%程度）を下回って週の取引を終えました（週末引け値：-0.231%）。
- 週間では、0.003%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

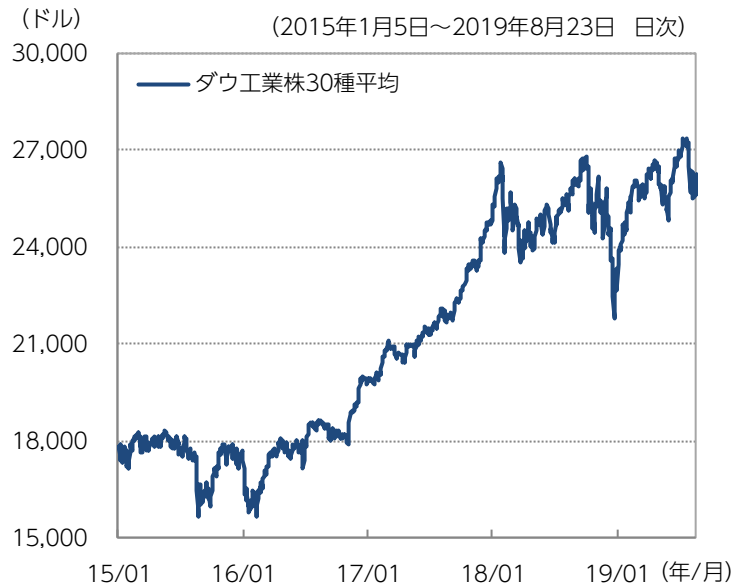
(2) 米国の株式市場

市場の動き

■ 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。米商務省が華為技術に対し、米国製品の輸出禁止措置の猶予期間延長を発表したことなどから上昇してスタートしました。週末にジャクソンホールでのパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演を控え様子見ムードが高まる中、軟調な値動きとなる場面もあったものの、週末は、中国の米国製品への追加関税発表と、米国の対中国への報復関税発表により米中貿易摩擦の激化懸念が高まると、大幅下落となりました（週末引け値：25,628.90ドル）。

■ 週間ではNYダウは0.99%の下落となりました。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成



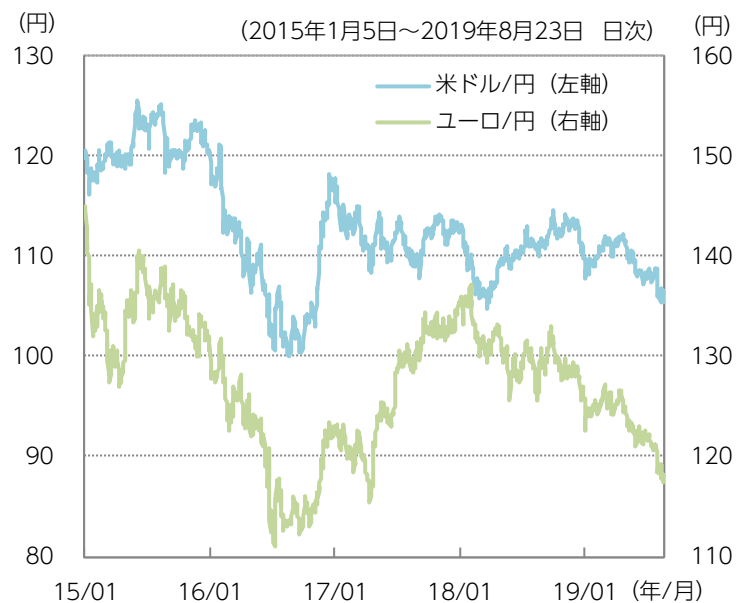
(3) 外国為替市場

市場の動き

■ 米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米中貿易摩擦の激化懸念の高まりによる円高米ドル安の進行と、FOMCの議事要旨を受けた米国の継続的な利下げ観測後退等による円売り米ドル高の進行により、週を通じて一進一退の展開となりました。週末は、中国の米国製品への追加関税発表および、これに対する米国の対抗措置により、さらなる米中貿易摩擦の激化懸念の高まりから、円高米ドル安が進行しました（週末引け値：105円30銭～40銭）。

■ 週間では米ドル/円は0.93%の円高、ユーロ/円は0.40%の円高となりました。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>